

「あいうえお」のエネルギーとなる「さしすせそ」

南帷子小学校長 堀田 誠

今年の入学式・始業式は満開の桜のもとで行えそうです。真新しいランドセルを背負った一年生がとてもまぶしく輝いていることでしょう。こんなキラキラと輝く子どもの瞳をいつまでも大切にし、そしてそんな子どもを預かるという使命感をもって本年度も教職員一丸となって頑張っていきたいです。

さて、職員玄関を入った右側の階段を上がると、校長室の廊下掲示に南帷子小学校が大切にしている「あいうえお」を見ることができます。それは以下の通りです。



43年目の桜

あ:「あいさつ」 あいさつは、人と人をつなぐ魔法の言葉です。
い:「いのち」 自分の命も、仲間の命も、家族の命も大切にしましょう。
う:「うなずき」 話をうなずいて聞くことで賢くなります。気持ちが伝わります。
え:「えがお」 自分も仲間も笑顔いっぱいだと、明るく嬉しくなります。
お:「おもいやり」 思いやりは思いやりとなって返ってきます。

この「あいうえお」はいつから掲示されているのかは分かりませんが、ここ数年は、南帷子小学校の子どもは、この「あいうえお」を大切に学校生活を送っているのだと感じました。私たち大人はどうすればよいのでしょうか。それは、精一杯頑張っている子どもに、「さしすせそ」で返すことだと思います。

さ:さすがですね、最高ですね 「さすが〜」「最高！」
し:知らなかったです 「知らなかった！」
す:すごいですね、素晴らしいです、素敵です 「すごーい」「素晴らしい！」「素敵！」
せ:センスがありますね 「センスあるね」
そ:そうなんですね、その通りです 「そうなんだ」「その通りだね」

大人でも上記の言葉をかけられると嬉しくなり、さらに「やる気」になります。特に子どもは、この「認められる言葉」がエネルギーとなってすくすくと成長していくことでしょう。はじめてつかまり立ちできた時、はじめて言葉を発した時に、思い切り拍手をして喜んだ過去を思い出しながら、私たち大人は子どもにエネルギーを注入していきたいです。



【保護者の皆様へ】

本年度も、新型コロナウイルス感染症対策が続きます。子どもたちの命を守ることを第一優先にしながら、子どもたちのためにできる教育活動は、対策を万全にして実施していきたいと考えています。保護者の皆様には、いろいろな面でご理解ご協力いただくこととなりますが、どうぞ、よろしくお願いいたします。